

# 後発医薬品使用体制加算について

当センターは、後発医薬品使用体制加算を算定しております。

## 後発医薬品とは

後発医薬品(ジェネリック医薬品とも呼びます。)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

先発医薬品より安価で効き目や安全性は先発医薬品と同等です。

当センターでは、後発医薬品の使用促進を図るとともに、以下の事項を患者さまにお願いしております。

- ▶ 医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の処方等の変更等に関して適切な対応ができる体制が整備されております。
- ▶ 医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性があります。
- ▶ 上記理由により変更が生じる場合には、患者さまに十分に説明いたします。

皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

# 今までも。これからも。

↑  
未来 Mirai  
信頼 Shinrai  
安心 Anshin  
ジェネリック医薬品

## 国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたもののだけが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

## 低価格で個人負担が軽くなる

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

## 医療費を有効活用

個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は 新技術や新薬の導入に活用できます。

## 医療保険制度を次の世代に引き継ぐ

少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

## 獨協医科大学日光医療センターでのジェネリック（後発）医薬品についての取り組み

当センターは「後発医薬品使用体制加算I」に係る届出を行っている保険医療機関です。

医薬品の供給が不足等した場合に当センターにおける治療計画等の見直しを行うなど適切に対応させていただきます。

また、上記の体制に関する事項や医薬品の供給状況により、投与する薬剤が変更になる可能性及び変更する場合には十分にご説明をさせていただきます。

（ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。）

ジェネリック医薬品に関する情報は  
[厚生労働省 ジェネリック] [検索](#)

当センターでは一部の処方せんで

## 「一般名処方」を 使用しています



当センターの処方せんは「銘柄名処方」と「**一般名処方**」を併用しております。

## 「一般名処方」とは？

- ① 処方せんには調剤されている医薬品が記載されていますが、一般名（有効成分の名称）で記載して処方することを「一般名処方」といいます。
- ② 厚生労働省が示している記載方法に準じて【般】+「一般名」+「剤形」+「含量」で記載されます。

処方せん	
商品名	〇〇〇錠 10mg 1錠
用法	分1 就寝前 7日分

商品名で記載

処方せん	
一般名	【般】△△△錠 10mg 1錠
用法	分1 就寝前 7日分

一般名で記載

## 「一般名処方のメリット」

「一般名処方」で記載された処方せんでは、有効成分が同一である医薬品が複数あれば「先発医薬品」でも「ジェネリック医薬品」でも、薬剤師と相談して選ぶことができます。

ジェネリック医薬品は先発医薬品よりも価格を安くすることができるため、患者さんの負担軽減や国の医療費節減につながります。

獨協医科大学日光医療センター